

# 課題演習DC 「地球の鼓動を探る」

最大人員 6名

担当:久家慶子・平原和朗(地球物理)、大倉敬宏(熱学阿蘇)、宮澤理稔(防災研)



## 演習の意図・概要

本演習では、地震や火山活動等による地面の揺れをターゲットに、観測・データ解析・モデリングの三位一体で迫ります。目で直接見ることのできない地球内部での現象(地震など)や深部構造を明らかにするには、地表での震動や変動を観測すること(観測)、そのデータを読み解くこと(データ解析)、その結果をもとに地下での現象を予想・解釈すること(モデリング)の3つの組み合わせが不可欠です。

本演習では、これらを一通り体験することにより、地震や地球内部を調べるための基礎的感覚を身につけることが目的です。

データ解析やモデリングの演習では、計算機を使った実習(プログラミングを含む)を行います。計算機の知識(例えば、Fortran等)があると容易ではありますが、必ずしも必要としていません。計算機に不慣れな方は、少人数演習のこの機会に学べます。

## 演習の予定

■夏季休暇中(3~4日間)

阿蘇地震観測実習

大倉敬宏(熱学阿蘇)担当

■後期セミスター

地震計のデータの取得・処理

大倉敬宏(熱学阿蘇)担当

取得したデータの解析

宮澤理稔(防災研)担当

モデリング

久家慶子・平原和朗(地球物理)担当

この演習の一番のお楽しみは  
**夏季休暇中の阿蘇地震観測実習**です

- 好きな交通機関を利用してもらい、現地集合・現地解散。交通費は自己負担。交通費(昨年度実績)は、フェリーの場合、片道約6000円、飛行機の場合、片道約12000円、JRの場合、片道約15000円など。
- 京大熱学施設の阿蘇・火山センターに宿泊します。宿泊費は不要。食費(実費)が必要。
- 実習には特別な体力や経験は必要ありません。地質学などの巡検のような感じではないです。
- 実習の日程は、履修者決定後に、履修者で相談して決めます。その相談は、7月14日(月)午後6時15分から理2号館5階509号室(南東角)にて行います(出席できない場合、前もって連絡をしてもらいます)。

参考に、昨年の実習のようすなどは <http://www-seis1.kugi.kyoto-u.ac.jp/d2/07/aso/index.html> で見ることができます。ただし、本年度の実習内容は昨年度と異なる予定です。

昨年参加した先輩から

### この実習のここがお薦め

- 大学から離れ、雄大な阿蘇にいける！
- 普段することのない観測実習ができる！
- 馬肉や火山灰ソフトが食べられる！
- 阿蘇の火口を間近で見られる！
- 理学部の他の授業には数少ないフィールド実習を体験できる！
- 授業という感じがしないで、旅行気分が味わえる！
- 適度な運動で、疲れ果てる実習ではない！



温泉



もあります